

甚大な被害をもたらしたカザフスタン・セミパラチンスク核実験場の閉鎖から、  
今夏で35周年を迎えます。

核実験は、その周辺で暮らした人々に何をもたらしたのか？

3月8日は国際女性デー（ローズデー：裏面参照）であることにも鑑みて、  
女性や子どもの視点から考えます。

エスカレートし続ける「核危機」を食い止めるために、  
セミパラチンスクの今をみつめましょう。

ともに入場無料  
予約不要

### Exhibition

パネル展示

『セミパラチンスクと広島、  
子どもたちのメッセージ』

2026

3.18 水 - 31 火

9:30-22:00

\*初日は15:00から、最終日は15:00まで

合人社ウェンディひと・まちプラザ  
1階ロビー

広島市中区袋町6番36号

主催：ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクト  
後援：広島市

### Screening & Talk

上映会&トークセッション

『JARA（傷あと）

Radioactive Patriarchy』

2026

3.22 日

13:00-15:00 (12:30開場)

合人社ウェンディひと・まちプラザ  
6階マルチメディアスタジオ

広島市中区袋町6番36号

主催：安芸コスモスゾンタクラブ、  
ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクト  
後援：広島市、  
広島市女性団体連絡会議（ひろしまWENET）

お問い合わせ：

d26akikosumosu@gmail.com

090-6416-5035（ヒロセミ代表・佐々木）

“核悲劇のない21世紀を”

ヒロセミ



ZONTA  
CLUB OF  
AKI COSMOS  
MEMBER OF ZONTA INTERNATIONAL  
EMPOWERING WOMEN  
THROUGH SERVICE & ADVOCACY

## パネル展示

### 『セミパラチンスクと広島、 子どもたちのメッセージ』

セミパラチンスクに暮らす子どもたちが、平和や核実験をテーマに描いた60枚の絵を展示。昨夏、広島を訪れた核実験被害者のマイラ・アベノバさんが、「ヒロシマへの贈り物」として寄贈してくれたもの。その他、広島の子どもたちが描いた絵の他、被害の概要や歴史について伝えるパネルも展示する。

## 映画上映会&トークセッション

### 『JARA (傷あと) Radioactive Patriarchy』

自身も核実験の影響を受けた「第3世代」のAigerim Seitenovaによるドキュメンタリー。核実験の揺れを直接体験した祖母の被害を入り口に、女性たちが受けた苦しみに焦点を当てた。上映後に、監督とオンラインでつないだトークショーも。カザフスタンの核実験を止めた鎮魂歌「ザマナイ」の歌唱も予定している。

### タイムスケジュール

12:30	開場	(休憩)
13:00	開会	14:00 トークセッション
13:10	映画上映(約40分)	15:00 閉会

### トークセッション登壇者



Aigerim Seitenova  
監督・プロデューサー



小山美砂  
ジャーナリスト



田中美穂  
カクフカ広島共同代表

## セミパラチンスク核実験場について

1949年8月29日に最初の原爆実験が実施され、1991年8月29日に閉鎖されるまで、秘密裡に450回以上の核実験が繰り返された。広大な草原の中に設置された核実験場は、日本の四国ほどの大きさがある。周辺では、ガンや心臓病といった病に加え、免疫力の低下、先天異常や新生児の死亡、精神疾患の増加が確認されており、被害者は150万人にのぼるといふ。広島市とセメイ市(旧セミパラチンスク市)は2024年、「交流・提携に関する合意書」を締結した。

## ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクトとは

通称ヒロセミ。広島アジア大会をきっかけに、旧ソ連による核実験場ヒバクシャ支援を目的に1998年に設立された。以降、医療支援や留学生の受け入れ、市民同士の交流や講演会の実施などを重ね、2023年に外務大臣賞・団体賞を受賞した。

## ゾンタクラブとは

女性の地位向上を目指し、1919年米ニューヨークで設立。世界67カ国・地域で1200のクラブがあり、3万人の会員がいる。広島市を拠点とする「安芸コスモスゾンタクラブ」は、2002年12月設立。チャリティコンサートやバザー、寄付などで得た資金をもとに、男女共同参画社会の推進や福祉支援、平和な世界を目指す活動を続けている。

## 🌹 国際女性デー (ローズデー) とは

世界各地で続くジェンダー不平等や差別に目を向け、女性の声と権利を可視化する国際的な記念日。ゾンタクラブでは「ローズデー」と呼んでおり、尊厳・勇気・連帯の象徴として、黄色いバラをシンボルに掲げている。

